



発行責任者 齋藤隆靖 編集責任者 滝沢寿隆

2023年7月15日号

平和 働き、生活できる

人権 労働条件を獲得しよう

環境

ホームページ



メール



<http://unionpeace.main.jp/>

info@unionpeace.main.jp

ユニオンネット平和センター（略称：ユニオン平和）

〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-15-9 武蔵野ビル 2F 労働相談室気付

TEL 070-6576-2071

FAX 03-5577-7263

戦争反対、核廃絶、原発反対の声を上げ続けよう

6月21日に通常国会が終わったが、ひどい国会だった。与党が提案した60法案中、58法案が成立した。そのなかでも日本の安全保障や私たちの命や生活に直結する法案である「安保関連3文書法、改正入管難民法、GX脱炭素電源法、防衛費拡大確保法、防衛産業強化法」などが、国会でたいした審議も経ずに成立した。

連日、国会前行動や座り込み、院内集会等が行われ、私たちも少なからず参加したが、いかにせん数の力にはかなわず、残念ながら与党と一部野党の賛成多数で成立してしまった。一方、改正入管難民法に対する反対行動には、今までにない数の人たちが抗議の声をあげ、拡がりを見せた。悪法は成立したが、それで闘いが終わったわけではない。例えば5年間で防衛費を現在の2倍の43兆円とするというが、一部財源は示されたものの、足りない分について結局は増税となることは明らかであり、私たちは戦争反対の声と行動を続けるしかない。

時間が経つのは早いもので、安倍元首相の襲撃事件から1年が過ぎた。岸田政権は旧統一教会と政治の関係や国葬問題について、真相究明や対応に及び腰で、結局は問題をうやむやみし、国民がそれを忘れることを期待している感である。私たちはそのことを忘れてはならないし、その様な政治を許してはならない。

ロシアによるウクライナ侵攻により、核兵器の使用の脅威が現実の問題となっているが、核廃絶にむけた被爆78周年原水爆禁止世界大会が8月4日から広島で開催されるにあたり、ユニオン平和としても参加を予定しており、皆さんにカンパをお願いしている。あるTV番組で見たが、6600万年前、直径14キロの隕石が地球に衝突し、舞い上がった粉塵が地球を覆い隠し、1億5千万年にわたり地球に君臨していた恐竜が絶滅したという。その破壊力は広島に投下された原爆の10億倍だったという。現在、世界の核保有国が持っている核弾頭総数は人類を6、7回絶滅させる数である。戦争反対、核廃絶、原発反対の声を上げ続けよう。

記：滝沢寿隆

平和・人権・環境



株主総会に向け、前後して 争議解決へ全国各地で取り組み

早期解決を目指す JAL 闘争団は 6 月に入り、全国 51 ケ所を回った。7 月 2 日には 52 ケ所目となる熊本県荒尾市に着いた。荒尾地区労に呼びかけていただき、世界文化遺産に登録された三池炭鉱万田坑跡に建てられた万田炭鉱館ホールに 40 名が集まり、JAL 闘争報告会が開かれた。

不当解雇から 13 年、諦めず闘い続ける姿を鈴木圭子団長が報告、連帯の輪を広げた。荒尾集会には、金澤、宮川の両名も同行した。



錦糸町駅前

全国展開と同時に、JHU(JAL 被解雇者労働組合)は、JAL 株主総会に向け早期解決を呼びかけ、6 月 17 日には、羽田空港で「JAL 争議の解決宣伝行動」をした。到着ロビー前のスタンディングは横断幕とボードを掲げ 130 名で埋めた。

6 月 21 日には、錦糸町駅前で、JAL 不当解雇の早期解決を望む支援者 30 名とともに街頭宣伝を行い、山口宏弥委員長が声高く解決を訴えた。



JAL 株主総会会場前

6 月 23 日株主総会当日、会場である有明ガーデン

ンシアターで、「株主総会会場前宣伝行動」を行った。

8 時 30 分になると組合当事者はじめ、支援者が続々詰めかけ、総会入口の歩道を埋めた。支援者の挨拶に続き、リアルに解雇当時の制服制帽の着用で、パイロットがマイクを握った。「この制服は私たちの解雇後に変わっています。今、解雇されており着用しても何ら服務規程違反にはならない。JAL は経営破綻をビジネスにして解雇の乱発、倒産を煽り、利益を増やしてきた。事実を見つめ、労働者を大切にす経営こそ空の安全につながる。株主の皆さんに理解をお願いします。」と訴えた。



熊本集会で

現地には、全国から駆けつけた支援の仲間もおり、「愛媛から来ました。JAL 争議の早期解決と最賃キャンペーンとコラボした四国キャラバンは四国 4 県を回った。労働者の悲痛な叫びに耳を貸せと訴え続けてきました。私は総会で指名されれば、早期解決を強く言い続けます。」と株主総会会場前で力強く訴えられた。



熊本集會会場



羽田空港で



『憲法改悪を許さない街宣』が、6月22日新宿駅前で行われた。菱山南帆子さんの司会で始まった「解散、選挙をするんだ、するんだとちらつかせる。国会の重要法案から目をそらさせるのが岸田政権のやり口でした」。「戦争の作り方」を紙芝居で公開した。「こうやって戦争を起こし、市民を巻き込む」など、典型的なやり口を菱山さんのナレーションで進んだ。

庶民を煽り、不安に陥らせる。国の交戦権を持ち出し戦争の道を開く等々のストーリー性に関心を集めた。

福島瑞穂参院議員「戦争の準備差別と憎しみを作り愛国心をつくる。個性を潰して国家観を生み出そうとする。危ないあぶないことがつくら



菱山さん

れ憲法の改悪を進めます。平和のために憲法を守りましょう」。



福島さん

高田健さん「150日間の通常国会で原発再稼働延長、改悪入管法、軍事予算と軍事力を悪法を使って実行させる。台湾海峡危機で煽るのが岸田政権です。市民と野党の共闘で勝ち抜きましょう！」とそれぞれ挨拶がされた。行動には、雨の中、36名が参加した。次回は7月27日に予定されている。



高田さん



新宿駅前



共同テーブル会場

共同テーブルが取り組む「新しい戦前にさせない」第4回シンポジウムが、6月29日の午後、衆院第一議員会館で開かれた。今回のメインテーマは「中国・朝鮮の脅威論を越えて」。孫崎亨氏(元外務省国際情報局長)の講演で始まり「脅威論の真相を剥ぎ、平和の道を探求する」をテーマに「国際社会の動きを展望、アメリカの対中国包囲戦略が何をもたらすのか分析、対米従属路線に固執する岸田政権の外交路線の危うさについて講演した。



鳥越さん



孫崎亨さん

久々に鳥越俊太郎さんが登場した。共同テーブルの今回のテーマ『「新しい戦前にさせない」』はタモリさんが言った言葉です。メディアの内側から述べた言葉に価値がある。敵基地攻撃能力は閣議決定で決めた。国民の声ではない。中国を敵視する先に憲法が否定され平和が否定される。今後5年間で43兆円の軍事費を投入すると言う。背後でアメリカが操る。平和の声を上げましょう！」と話された。

シンポジウムは、コーディネーター 前田朗(東京造形大学名誉教授)、パネラーに王祝(上海大学特任教授)、李炳輝(朝鮮大学教授)さんが登壇し行われた。参加者は270名で会場を埋め尽くした。



会場



6.24 岸田改憲の危険性

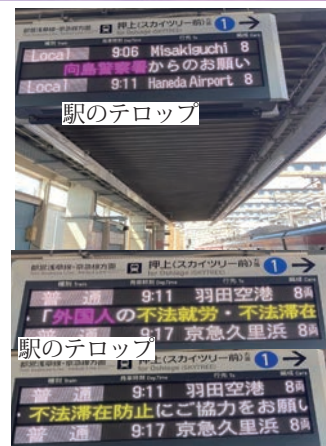
第173回市民憲法講座(主催:許すな!憲法改悪・市民連絡会)は、6月24日、文京区区民センターで、講師に大江京子さん(弁護士・改憲問題対策法律家6団体連絡会事務局長)を招き「岸田改憲の危険性と憲法審査会の現状」をテーマに話した。



21年衆院選結果から、野党共闘は終焉みたいな攻撃が立憲民主党に集中砲火。野党共闘を拒否!野党共闘が停滞した。衆院憲法審査会がコロナを口実に改憲推進政党が一致団結して、ほぼ憲法審査会が毎週開かれ異常な展開に入った。その口実は、①9条に自衛隊明記②緊急事態条項の創設③教育の充実④合区解消。臨時国会の改憲派は①緊急事態条項②議員の任期延長(大災害時等の)に絞り、最終日に与党筆頭幹事の私的論定整理が幹事会での反対を押し切り、改憲ありきに修正され、衆院法制局に説明をさせた。と話され、今後の動向にも言及され、憲法を守ることが訴えられた。



差別排外主義を煽るな!!



駅の電光掲示板を見たら「外国人の不法就労・不法滞在防止に協力を」という警察からの「お願い」が流れていた。差別排外主義を煽るな!なぜ「不法」状態にならざるを得ないのか。そもそも「不法」とする理由や必要はあるのか。日本労働運動は改悪入管法に負けず職場と地域から外国人との連帯を作ろう!

6.30 東京総行動でJAL本社前

6月30日、東京総行動が開催された。日鉄本社(戦後補償)からJAL本社(不当解雇)まで、9争議の企業等を回った。最終地のJAL本社前、150名が集集、早期解決の要請書を差し出した。主催者挨拶後、国労高崎地本、柚木さん(支える会)、山口JHU委員長、鈴木団長から解決に向けた訴えがされた。



ユニオン平和に参加しましょう

ユニオン平和は、フォーラム平和・人権・環境に加盟しているユニオンの集合体です。平和・人権・環境に係わる諸課題の理論・情報・行動を発信していきます。

加入は、団体、サポーター会員として、個人単位での加入もお願いしています。

是非ご参加ください。

会費一年会費

団体：一口 1000円

個人：一口 1000円

※団体個人とも、可能な方は複数口お願いします。

※サポーター会員証を発行しています

平和・人権・環境